

## 平成26年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 株式会社アスコット

上場取引所 東

コード番号 3264 URL <http://www.ascotcorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加賀谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部マネジャー (氏名) 中澤 智史

TEL 03-5363-8426

四半期報告書提出予定日 平成26年1月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第1四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第1四半期	1,089	△71.1	△11	—	△31	—	△31	—
25年9月期第1四半期	3,774	120.4	122	—	79	—	80	—

(注) 包括利益 26年9月期第1四半期 △31百万円 (—%) 25年9月期第1四半期 81百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第1四半期	△1.35	—
25年9月期第1四半期	3.42	3.41

平成26年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第1四半期	3,611	538	14.9
25年9月期	4,090	569	13.9

(参考) 自己資本 26年9月期第1四半期 538百万円 25年9月期 569百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,216	△42.8	170	88.5	117	676.2	107	—	4.56
通期	5,152	△32.7	469	61.8	353	122.5	325	102.9	13.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期1Q	23,620,004 株	25年9月期	23,620,004 株
26年9月期1Q	— 株	25年9月期	— 株
26年9月期1Q	23,620,004 株	25年9月期1Q	23,620,004 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、円安基調が続き、株価上昇が進行するなど、景気回復の動きが見えるものの、新興国景気の減速など海外経済の下振れ懸念もあり、国内景気の先行きには不透明感が残っております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けてのインフラ整備による建築コスト上昇の懸念、消費税率引上げによる反動の影響など、先行きに不透明感はあるものの、首都圏分譲マンション市場における契約率が好不調の目安とされる70%※を超える水準で推移するなど、不動産市況は堅調な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、不動産ソリューション事業における収益不動産開発1棟を売却しております。一方で、不動産開発事業において分譲マンション開発用地1物件ならびに戸建開発用地1物件及び不動産ソリューション事業のソリューションにおいてリセール物件1棟を取得するなど、将来収益獲得に向けて、物件の仕入活動を積極的に行っております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,089百万円（前年同期比：2,685百万円減）、営業損失11百万円（前年同期：営業利益122百万円）、経常損失31百万円（前年同期：経常利益79百万円）、四半期純損失31百万円（前年同期：四半期純利益80百万円）となりました。

※民間調査期間調べ

セグメントの業績の概要は、以下のとおりであります。なお、各セグメントの売上高の金額は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めない数値を記載しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、戸建開発を再開したことに伴い、従来の「分譲マンション開発事業」を「不動産開発事業」へ名称を変更しております。

#### (不動産開発事業)

当第1四半期連結累計期間における不動産開発事業の売上高はなく（前年同期比：1,180百万円減）、営業損失は19百万円（前年同期：営業利益243百万円）となりました。

不動産開発事業においては、分譲マンション開発用地1物件を取得し、共同事業を含め4物件の開発を推進しております。なお、当連結会計年度においては「ASCOT PARK 両国BLOOM」（総戸数20戸）の竣工引渡を予定しており、本書提出日現在の契約率は85.0%と順調な販売状況となっております。

また、当第1四半期連結会計期間より戸建開発を再開しており、戸建開発用地1物件を取得しております。

#### (不動産ソリューション事業)

当第1四半期連結累計期間における不動産ソリューション事業の売上高は1,086百万円（前年同期比：1,504百万円減）、営業利益は68百万円（前年同期：営業損失73百万円）となりました。当社グループの不動産ソリューション事業は、収益不動産開発ならびにソリューション等に分かれており、その売上高及び営業利益は次のとおりであります。

#### 収益不動産開発

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,032百万円（前年同期比：187百万円減）、営業利益は42百万円（前年同期：営業損失4百万円）となりました。

収益不動産開発においては、商業・オフィスの「AUSPICE元浅草」（東京都台東区）1棟を売却しております。なお、第2四半期累計期間において、開発中の1物件の竣工を予定しており、竣工後には賃料収入が見込まれることとなります。

#### ソリューション

当第1四半期連結累計期間の売上高は0百万円（前年同期比：1,370百万円減）、営業損失は6百万円（前年同期：営業損失54百万円）となりました。

リセール物件として賃貸マンション1棟を取得し、賃料収入を計上しております。

#### 不動産コンサルティング、不動産仲介

当第1四半期連結累計期間の売上高は53百万円（前年同期比：53百万円増）、営業利益は31百万円（前年同期：営業損失14百万円）となりました。

主に、不動産仲介における媒介手数料収入を計上しております。

(その他事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は2百万円(前年同期比:0百万円減)、営業損失は9百万円(前年同期:営業損失1百万円)となりました。

その他事業におきましては、保険代理店手数料収入等の手数料収入を計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,611百万円(前連結会計年度末:4,090百万円)となり、前連結会計年度末と比較して478百万円の減少となりました。

流動資産は1,409百万円(前連結会計年度末:1,908百万円)となり、前連結会計年度末と比較して498百万円の減少となりました。主な要因として、不動産開発事業における開発用地2物件及び不動産ソリューション事業におけるリセール物件1棟を取得した一方で、不動産ソリューション事業の収益不動産開発において収益不動産1棟の売却したこと等により、たな卸資産残高が627百万円(前連結会計年度末:973百万円)となり、前連結会計年度末と比較して345百万円減少したこと等によります。なお、1年内償還予定の社債200百万円を償還したこと等により、現金及び預金残高は613百万円(前連結会計年度末:716百万円)となり、前連結会計年度末と比較して102百万円減少しております。

固定資産は2,201百万円(前連結会計年度末:2,181百万円)となり、前連結会計年度末と比較して19百万円の増加となりました。

### ②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は3,072百万円(前連結会計年度末:3,520百万円)となり、前連結会計年度末と比較して447百万円の減少となりました。

流動負債は1,439百万円(前連結会計年度末:2,136百万円)となり、前連結会計年度末と比較して696百万円の減少となりました。主な要因として、物件の取得に伴う新規の借入金が増加したものの、不動産ソリューション事業における収益不動産1棟を売却したことに伴う借入金の返済等により1年内返済予定の長期借入金が436百万円減少したこと、1年内償還予定の社債200百万円を償還したこと等によります。

固定負債は1,632百万円(前連結会計年度末:1,383百万円)となり、前連結会計年度末と比較して249百万円の増加となりました。主な要因として、不動産開発事業における開発用地の取得及び不動産ソリューション事業におけるリセール物件1棟の取得に伴う借入金が増加したこと等の影響により、長期借入金が257百万円増加したこと等によります。

### ③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は538百万円(前連結会計年度末:569百万円)となり、前連結会計年度末と比較して31百万円の減少となりました。主な要因として、四半期純損失の計上により利益剰余金が31百万円減少したこと等によります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月30日発表の予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	716,772	613,836
売掛金	7,761	4,280
販売用不動産	949,878	110,708
仕掛販売用不動産	23,731	517,105
貯蔵品	292	283
その他	210,723	164,358
貸倒引当金	△857	△829
流動資産合計	1,908,302	1,409,743
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,860,772	1,860,772
その他(純額)	249,642	268,003
有形固定資産合計	2,110,414	2,128,775
無形固定資産		
その他	1,823	1,686
無形固定資産合計	1,823	1,686
投資その他の資産	69,591	71,088
固定資産合計	2,181,829	2,201,550
資産合計	4,090,131	3,611,294
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,851	25,136
1年内償還予定の社債	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,705,201	1,269,200
未払法人税等	4,690	1,748
賞与引当金	2,283	467
その他	160,743	143,293
流動負債合計	2,136,770	1,439,846
固定負債		
長期借入金	1,345,448	1,603,306
その他	38,090	29,359
固定負債合計	1,383,539	1,632,665
負債合計	3,520,309	3,072,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,434,611	1,434,611
資本剰余金	1,134,408	1,134,408
利益剰余金	△1,991,752	△2,023,554
株主資本合計	577,266	545,464
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,444	△6,682
その他の包括利益累計額合計	△7,444	△6,682
純資産合計	569,822	538,781
負債純資産合計	4,090,131	3,611,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,774,339	1,089,267
売上原価	3,548,542	988,439
売上総利益	225,797	100,827
販売費及び一般管理費	103,131	112,019
営業利益又は営業損失(△)	122,665	△11,191
営業外収益		
受取利息	0	0
貸倒引当金戻入額	—	28
賞与引当金戻入額	708	503
その他	107	79
営業外収益合計	815	611
営業外費用		
支払利息	40,997	19,889
その他	3,044	1,050
営業外費用合計	44,041	20,939
経常利益又は経常損失(△)	79,440	△31,519
特別利益		
新株予約権戻入益	1,350	—
特別利益合計	1,350	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	80,790	△31,519
法人税等	282	282
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	80,508	△31,802
少数株主損失(△)	△310	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80,819	△31,802



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	80,508	△31,802
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	1,118	762
その他の包括利益合計	1,118	762
四半期包括利益	81,627	△31,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,938	△31,040
少数株主に係る四半期包括利益	△310	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,180,619	2,590,655	3,771,275	3,064	3,774,339	—	3,774,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,180,619	2,590,655	3,771,275	3,064	3,774,339	—	3,774,339
セグメント利益又は損失(△)	243,546	△73,509	170,036	△1,906	168,129	△45,463	122,665

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンド等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,463千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 ソリューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	—	1,086,495	1,086,495	2,772	1,089,267	—	1,089,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	—	1,086,495	1,086,495	2,772	1,089,267	—	1,089,267
セグメント利益又は損失(△)	△19,486	68,459	48,973	△9,923	39,050	△50,241	△11,191

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンド等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△50,241千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、戸建開発を再開したことに伴い、従来の「分譲マンション開発事業」を「不動産開発事業」へ名称を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。